ﻣﺤﻲ¯ Ŧ └ – Ɗρ ₀ √

教員養成の「質保証」における大学の役割を問う
―学部教育カリキュラムの到達目標を中心に―

ﻣﺤﻲ¯ Ŧ └ – Ɗρ ₀ √ ¯

Ŧ └ – Ɗρ ₒ √ Ή ” ‶ ز ″ , ῴ ʽ ⁴ ” كبـ ₀ ὠ Ḥ
ﻤﺤﻲ ̄ Ŧ └ – Ɗρ ₒ √ ̄
Ꝺ ᾅ ﻤﺦ 3

ˀ ₲ № Ŧ ≡ └ ĭ
Ή ” ₌ كبـ Ḥ
.... 9

ᾅ ﻤﺦ Ꝺ 12

ˀ ₲ № Ŧ ≡ └ ĭ
̄ , ῴ ʽ ⁴ ئحـ ” ί ﻤﺤﻲ ̄ ĩ
ᾅ Ꝺ 17

, ῴ ʽ ⁴ ئحـ ” ί ﻤﺤﻲ ̄ ĩ
ᾅ Ꞵ ز ῒ 27

, ῴ ʽ ⁴ O⊂ ί ﻤﺤﻲ ̄ ĩ
ﺧﻢ ﻓﻢ نجد جمج 30

, ῴ ʽ ⁴ O⊂ ί ئي ﻤﺤﻲ ̄ ĩ
يز 34

ˀ ℮ ₉ ₰ ₠ № Ŧ ≡ └ ĭ 39

Ŧ └ – Ɗρ ₒ √ ̄ 54

シンポジウム「教員養成の『質保証』における大学の役割を問う」概要

ؕ ₲ № ₮ ≡ └ ĭ

Ή ” ═ كِ Ḥ

ɑ̆ مخ Ⴂ

教職実践演習　―設置の意義と役割―　　６／１７

（　　　　　　　　）

①教員の資質能力の育成

□平成９年教養審第一次答申（教員に求められる資質の能力）

[illegible]

□平成１７年中教審答申「新しい時代の義務教育を創造する」

[illegible]

□平成１８年中教審答申（今後の教員養成・免許制度の在り方について・・・教員免許更新制の実施）

[illegible]

□平成１８年中教審答申（今後の教員養成・免許制度の在り方について・・・教職実践演習の新設）

[illegible]

②「教職実践演習」の新設・必修化＝教員として必要な資質能力の最終的な形成と確認

③教大協教科等部会における教科等別到達目標とその能力確認、そして教職実践演習の履修へ

2007/06/17 ‖ with

Iwata Yasuyuki

2005 ‖ 2006

１．背景

1) 2001 ‖ 2001/11/22

2) 2006 ‖ 2006/07/11

1)

2005/07/15

2)

2006/07/11

２．教大協「モデル・コア・カリキュラム」プロジェクトの活動

2001.09 10 3

2003/09 5

2004/03/31

3 2005 4 5

ex.

2004

1(

2006/03/31

16

1991 1998

2007/03/31

３．学部教育カリキュラムの「到達目標」「確認の手だて」の検討

3

４．今後の論点・検討課題

̃ ₲ № ₮ ≡ └ ĭ

́ , ῷ ̔ ⁴ ئحـ ” ΐ محي ́ ĩ
ά Ꞁ

, ῷ ̔ ⁴ ئحـ ” ΐ محي ́ ĩ
ά Ƀ ﺯ ΐ

, ῷ ̔ ⁴ O≤ ΐ محي ́ ĩ
خم فم نجح جمح

, ῷ ̔ ⁴ O≤ ΐ ئي محي ́ ĩ
يز

2007 6 17 13:30-17:00

教大協「社会科モデル・コア・カリキュラム」案の報告

1．教大協社会科モデル・コア・カリキュラム作成までのいきさつ

2006 18

(1)

(2) (1)

(1) 2006

18 7 11

[illegible]

資料１　中教審「今後の教員養成・免許制度の在り方について（答申）」の「教科・保育内容等の指導力に関する事項」にある「到達目標」「確認指標例」「項目例」

[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	
	[illegible]	
	[illegible]	
	[illegible]	
[illegible]	[illegible]	

(2) [illegible]

2006　18
10　10 [illegible]
[illegible]
12　15 [illegible]
12　26 [illegible]

2007 19

1 26

2 28

２．社会科モデル・コア・カリキュラム作成に向けた基本的な流れ

[illegible] 1950 [illegible] 70 [illegible]

[1] [illegible] 2007 [illegible] 20 [illegible] 100 [illegible]

[2] [illegible] 1970 [illegible] 1986 [illegible]

[3] [illegible]

[4] [illegible]

3．社会科カリキュラム・モデルの基本方針

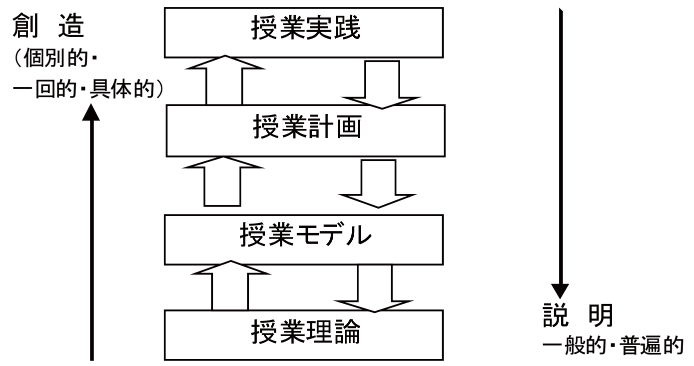


図1 仮説（授業）の重層性と研究方法（草原：2006）

[5] 2006

４．社会科カリキュラム・モデルの実際

５．おわりに

1997 64

2005 vol.33-4

2004

資料２：社会科モデル・コア・カリキュラム案

到達目標	確認指標例	ى	”
教科書の内容を理解しているなど、学習指導の基本的事項（教科書の知識や技能など）を身につけている。	自ら主体的に教材研究を行うとともに、それを生かした学習指導案を作成することができるか	‖ ” ˉ ═ ˉ ₠ ≥ £ ≈ ≤ √ ” ᴧ , – ˆ― ‖ ̀Ω ⁴ ˜	Δ ╒ ← ╒ Ω ꧑ ⅍
		╟ ˉ ” ═ ”H Ḫ جم Ḫ جم ” † ˆ Ḥ , – ˆ― ⁴ ˜	Δ ╒ ← ╒ Ω ꧑ ⅍
		‖ ˉ ” ═ א א ˉ , ῷ ‘ ⁴ ˉ ” ₀ ⁴ ˜	Δ ╒ ← ╒ Ω ꧑ ⅍
		‖ ⁝ ” ₀ ’ ˉ , ⁴ ₀ ڈ ‖ ̀Ω ⁴ ˜	” ڈ
		‖ ⁝ ₐ └ ฿ ╒ ⅜№⅍ ₀ ىي ― ῃ ’ ₀ ‼ ⁴ ═ Ό ‖ ̀Ω ⁴ ˜	
板書、話し方、表情など授業を行う上での基本的な表現力を身に付けている。	教科書の内容を十分に理解し、教科書を介して分かりやすく学習を組み立てるとともに、子どもからの質問に的確に応えることができるか	‖ ˉ ” , – ˆ― ’ ” ₀ Ό ⁑ ڈ† Ό ‖ ̀Ω ⁴ ˜	Δ ╒ ← ╒ Ω ꧑ ⅍‖
		‖ ” ₀ تز ═ ―’ ” جم ₀ Ω̣ ᏋK ⁴ ═ Ό ‖ ̀Ω ⁴ ˜	╒ – ╒ ⅍ ‖
		‖ ═ ’ ––ˆ ⁴ ˉ Ο ₀ ’ ˉ ” ₀ ― تمد ‖ ̀Ω ⁴ ˜	╒ – ╒ ⅍ ‖
		‖ ” ₀ ’ ˉ ‖ ‖ ‖ ‖ Ο ” ” ˆ ═ , ₀ ‘ ⁴ ═ Ό ‖ ̀Ω ⁴ ˜	╒ – ╒ ⅍
子どもの反応や学習の定着状況に応じて、授業計画や学習形態等を工夫することができる。	板書や発問、的確な話し方など基本的な授業技術を身につけるとともに、子どもの反応を生かしながら集中力を保った授業を行うことができるか	‖ ˉ ₀ ‘ ˉ אث , ⁴† ‼ ” ῃ ’ ₀ ⁴ ═ Ό ‖ ̀Ω ⁴ ˜	
		‖ ’ ‘ , ῷ ‘ ⁴ W H ” ₀ ’ , ⁴ ═ Ό ‖ ̀Ω ⁴ ˜	’ ‘
		‖ ” – ‴ ̀ΩΌ ‘ ”† ῴ ’ ‖ ⁴ ̀Ο ₀ ⁴ ═ Ό ‖ ̀Ω ⁴ ˜	
	基礎的な知識や技能について反復して教えたり、板書や資料の提示を分かりやすくするなど、基礎学力の定着を図る指導法を工夫することができるか	‖ ⁝ ’ ’ ‘ ̀Ơ ῃ ’ ℮ ╒ ฿ ₀ ‹ † ’ ‘ ˉ ” ‖ ₀ ‼† ’ ₀ ‼† † ⁴ ═ ” ‖ ̀Ω ⁴ ‖ Ό ‖ ̀Ω ⁴ ˜	
		‖ ˉ ” ’ ⁝ Όځ ‖ ̀Ρ ⁴ ̀Ο ₀ ⁴ ═ Ό ‖ ̀Ω ⁴ ˜	
教材となりうる社会事象に対して興味・関心をもち、主体的に調査・研究を進めることができる	社会事象に対して興味・関心をもとうとし、自ら主体的に深め、追求しようとする態度が見られるか	‖ ῃ ’ ˉ Ο , ‖ ₀ – ═ Ό ‖ ̀Ω ⁴ ˜	₧ ⌂ ╒ ↨ ‖ ╒ – ╒ ⅍
		‖ † ” ˉ Ο , ⁴ ‖ ₀ ‼ ’ ⁴† ‼ ” ₀ ⁴ ═ Ό ‖ ̀Ω ⁴ ˜	
		‖ ˉ Ο , – ˆ― ‖ ₀ ‼ ⁴† ‼ ” ⁝ ₀ , – ‘ ⁴ ˜	
		‖ ‖ ” ₀ ك ’ ‖ ‴ ═ ‼ ’ , ، ῴ ⁴ ═ Ό ‖ ̀Ω ⁴ ˜	₧ ⌂ ╒ ↨ ‖ ˉ
		‖ ‖ ,† † † ⁵† ₀ تمد ⁴ ═ Ό ‖ ̀Ω ⁴ ˜	ڈ

ᶜ Ό ’ ɡ ‼† جم , ’ ⁴ ˜ ڈ

25 75

30

10 10

20

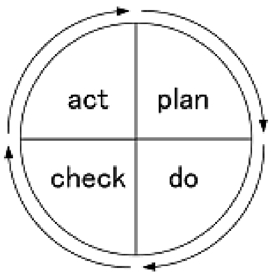
2005

10000

10000

III

Plan‖Do‖Check‖Act



(Check/Act)

(Check/Act)

(Plan)

18

82

32

31

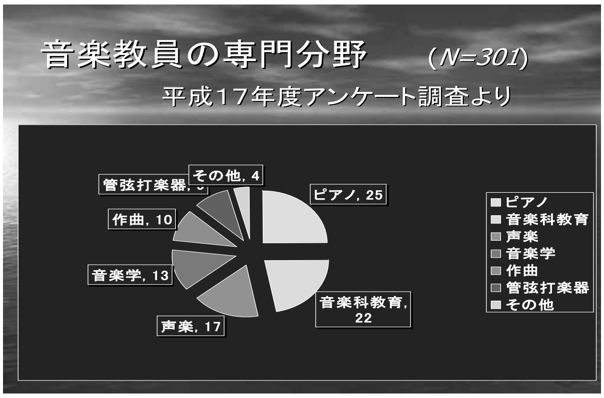
32

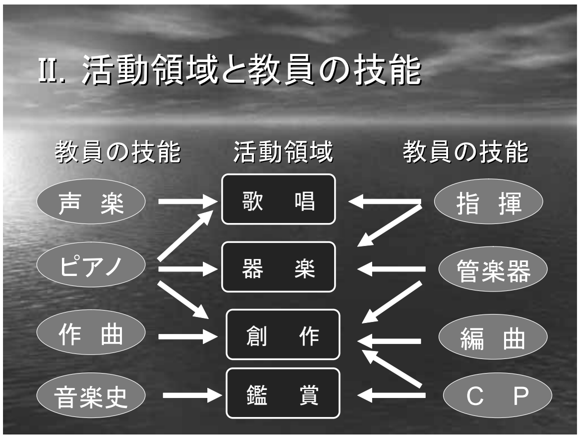
II

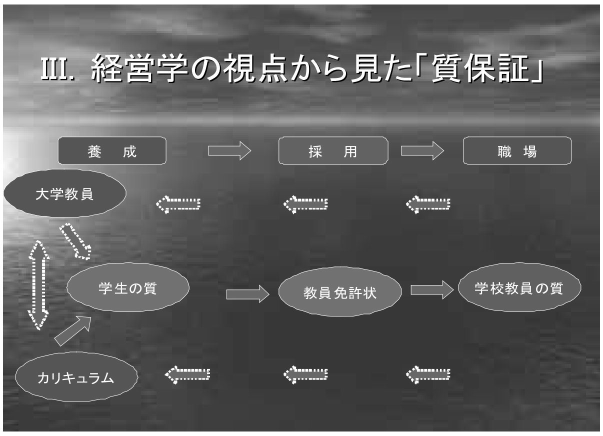
IV HRM

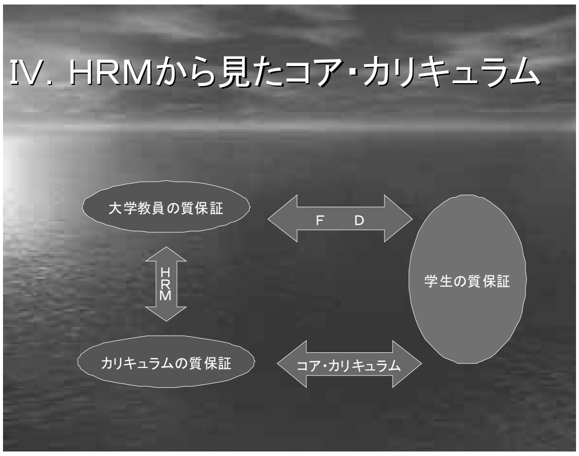
HRM(

Kaizen









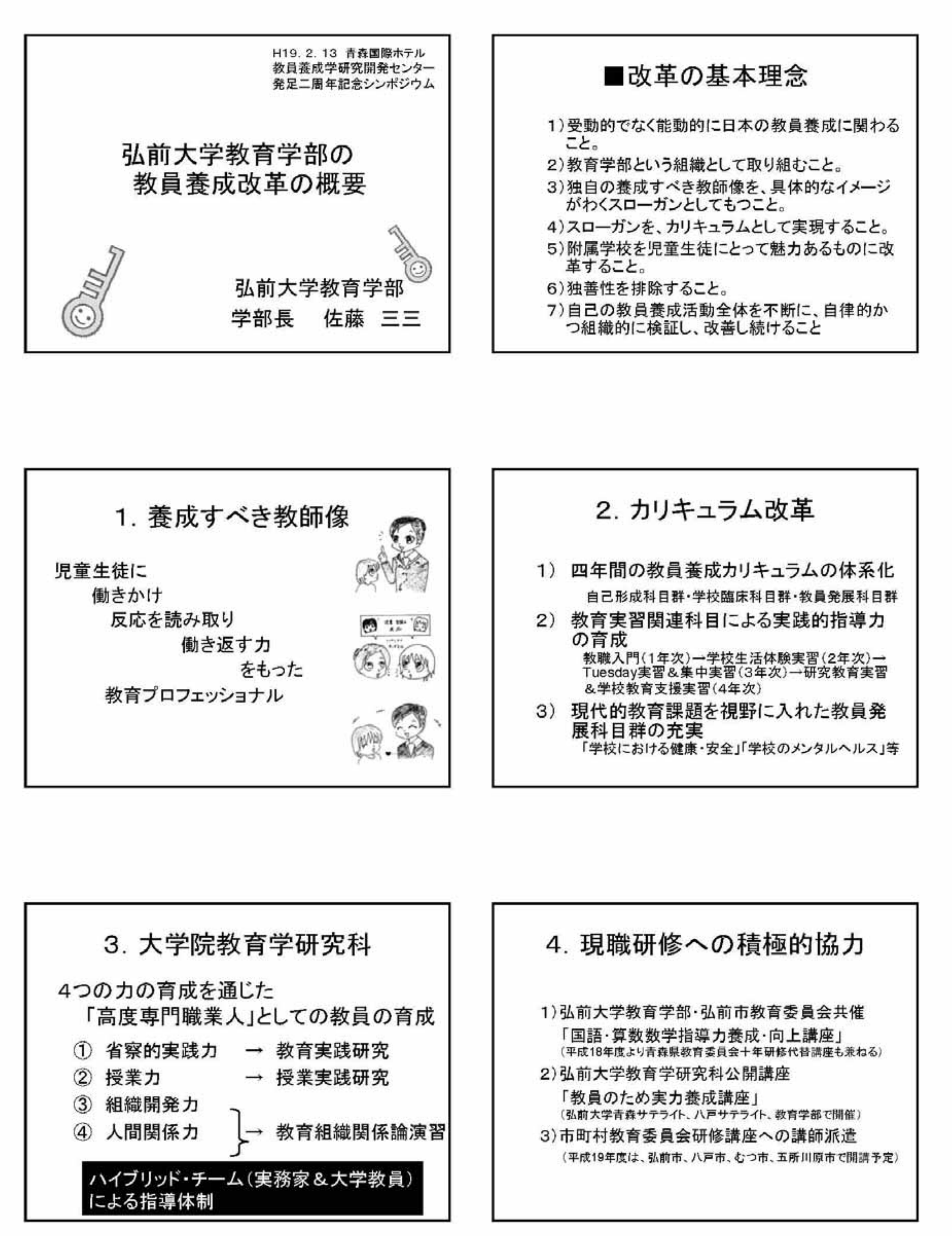
到達目標	確認指標	項目	確認の手だて
	自ら主体的に教材研究を行うとともに、それを活かした学習指導案を作成することができるか。	楽曲による題材構成と主題による題材構成の特徴を理解し、指導案を作成することができる。	指導案の作成
		歌唱、器楽および鑑賞教材の特質を踏まえて適切な指導案を作成することができる。	指導案の作成
教科書の内容を理解しているなど、学習指導の基本的事項（教科等の知識や技能など）を身に付けている。		音楽学習の活動領域相互の関連を図ることができる。	指導案の作成
		伴奏付けに関する基本的な知識と技能を持っている。	実技試験
		作曲・編曲に関する基本的な知識を持っている。	ペーパーテスト
		作曲・編曲に関する基礎的な技術を持ち、簡単な教材を開発することがで	ペーパーテスト
		管・弦・打楽器等、および和楽器に関する基本的な知識と、奏法の基礎的な技能を持っている。	実技試験、ペーパーテスト
	教科書の内容を十分理解し、教科書を介して分かりやすく学習を組み立てるとともに、子どもからの質問に的確に応えることができるか。	歌唱、器楽および鑑賞の教材曲に関する基本的な知識を持っている。	ペーパーテスト、リスニング試験
		学習指導要領の教材選択の観点に基づいて適切な教材を選ぶための基本的知識を持っている。	ペーパーテスト、リスニング試験
		我が国の伝統的な音楽文化および世界の諸民族の音楽に対する基本的な知見を持っている。	ペーパーテスト、リスニング試験
板書、話し方、表情など授業を行う上での基本的な表現力を身に付けている。		各種音楽を支える風土や文化・歴史との関わりを理解している。	ペーパーテスト、レポート試験
		音楽と他ジャンルの芸術との関わりを理解している。	ペーパーテスト、レポート試験
		音楽の仕組み（構造的側面）について説明するための十分な知見を持って	ペーパーテスト、レポート試験
	板書や発問、的確な話し方などの基本的な授業技術および範唱、範奏するための演奏技能を身に付けるとともに、子どもの反応を生かしながら、集中力を保った授業を行うことができるか。	発声法の基礎を身につけ、自信をもって歌うことができる。	実技試験、レポート試験
		歌いながら伴奏することができる。	実技試験
		必要に応じて移調して伴奏することができる。	実技試験
子どもの反応や学習の定着状況に応じて、授業計画や学習形態等を工夫することができる。		生徒の音楽性を喚起するような伴奏をすることができる。	実技試験、模擬授業
		生徒の演奏意欲を引き出すような指揮をすることができる。	実技試験、模擬授業
		簡単な鑑賞曲の実演をすることができる。	実技試験、模擬授業
		合唱、合奏の指導および小アンサンブル指導の基本的な技術を持っている	実技試験、模擬授業
		さまざまな音楽的事象について説明を的確に行うための用語を理解してい	ペーパーテスト、レポート試験
		鑑賞の指導にあたり、コンピュータ等の機材や映像資料等を効果的に使用することができる。	模擬授業
	基礎的な知識や技能について反復して教えたり、板書や資料の提示を分かりやすくするなど、音楽性の基礎の定着を図る指導法を工夫することができるか。	歌唱および演奏の技能習得に効果的な学習形態（ペア学習、グループ学	模擬授業
変声期等、音楽的発達の特徴を理解し、個に応じた指導を展開することができる。		生徒が主体的に演奏技術を向上させるために、適切な指導や支援を行うことができる。	模擬授業
		創作・編曲活動のプロセスにおいて適切な助言、評価をすることができる。	模擬授業
		鑑賞活動を深めるための基本的な知識の習得に関して、系統的・段階的な指導法を理解している。	レポート試験
		「表現」と「鑑賞」の活動を有機的に連動させるための創意工夫を行うことができる。	レポート試験
		生活の中で音楽との関わりを深めるための適切な助言や支援を行うことができる。	レポート試験

, ῷ ʽ 4 OS خ

ف

نجد جمع

Ó خ ” ”



5. 全学教員養成

1） 教育学部の専門性の一部を弘前大学として共有するために

2） 教育学部自身に、広い視野と教員養成力の向上をもたらすために

6. 教員の意識改革

改革前

教育実習関連科目等における附属学校・公立学校への全面依存あるいは理念や統一性を欠いた個人連合

改革後

学部教員の教育実習関連科目等における主体的・組織的関わり

1年次「教職入門」 … 17名の教員が授業感想実習

を引率・指導

3年次「Tuesday実習」 … 37名の教員が授業観察・授

7. 附属学校園と附属ユニバーサルスクール構想

附属ユニバーサル・スクール構想は、幼稚園・小学校・中学校・養護学校の附属4校園が、一つのスクールとして一体化し、かつ、学部と強力に連携して、子どもたちの学びと教員の教育実践研究推進の場をつくり上げ、新たな可能性・活力を生み出す学園構築の構想です

未来に伸びゆく子どもたちに

様々な交流・連携を通して子どもたちの可能性を広げ、高める先進的教育活動を展開し、成果を地域に発信していきます

8. 教育委員会、小中校長会、同窓会との連携（独善の排除）

1） 連絡協議会の実施

青森県教育委員会、県小中学校校長会、弘前市教育委員会、弘前市小・中学校長会、弘前大学教育学部同窓会との協議会の実施

（県教育委員会との協議会を除いて すべて平成15年度以降に開始）

2） 協定書の締結

「教員を目指す学生による教育活動支援に関する協定書」の締結

（青森市教育委員会、弘前市教育委員会、県立弘前中央高等学校）

9. 心意気としての『青森から、教員養成を！』

受動から能動へ。先端を走る！

1） 弘前大学教育学部の学生を全国へ

首都圏教員採用試験支援バス

2） 教員養成改革の取り組みをアピール

県内外教育委員会等へ

3） 研究大会開催と各種研究大会での発表

・日本教育大学協会研究集会会場校(H17.10)

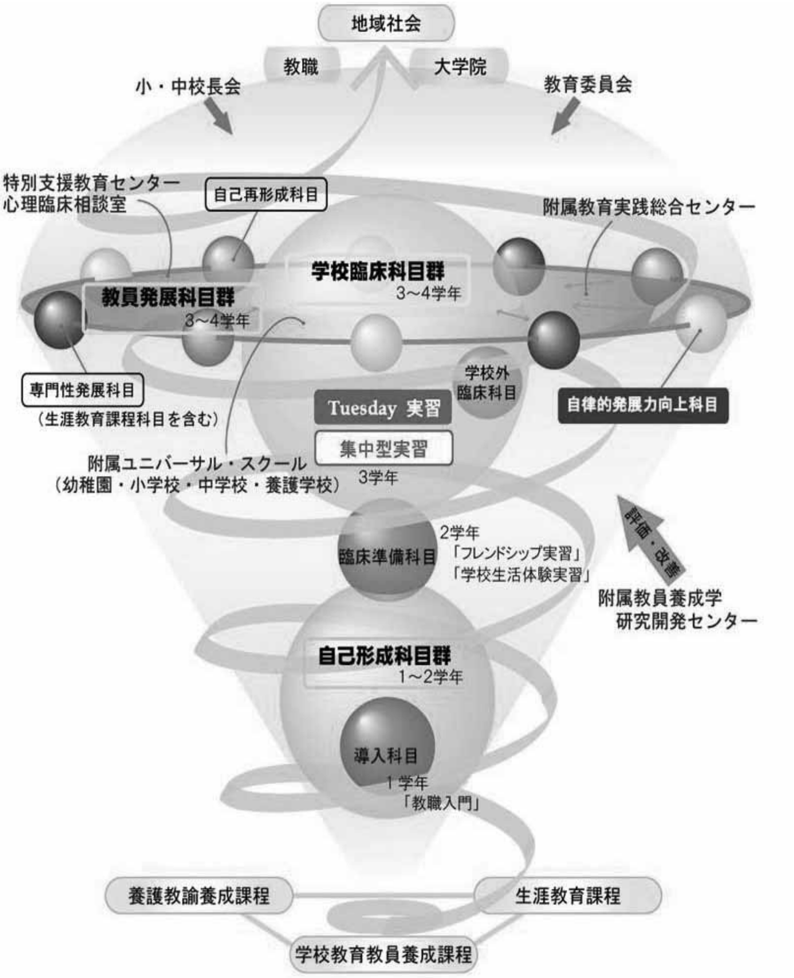
・文部科学省『教員の資質向上連絡協議会』での報告(H19.2)

10. 教員養成学研究開発センター

• 弘前大学教育学部における教員養成のメインエンジン

弘前大学教育学部附属
教員養成学
研究開発センター

○学部カリキュラムの螺旋構造



○地域と連携する循環型教育実践システム

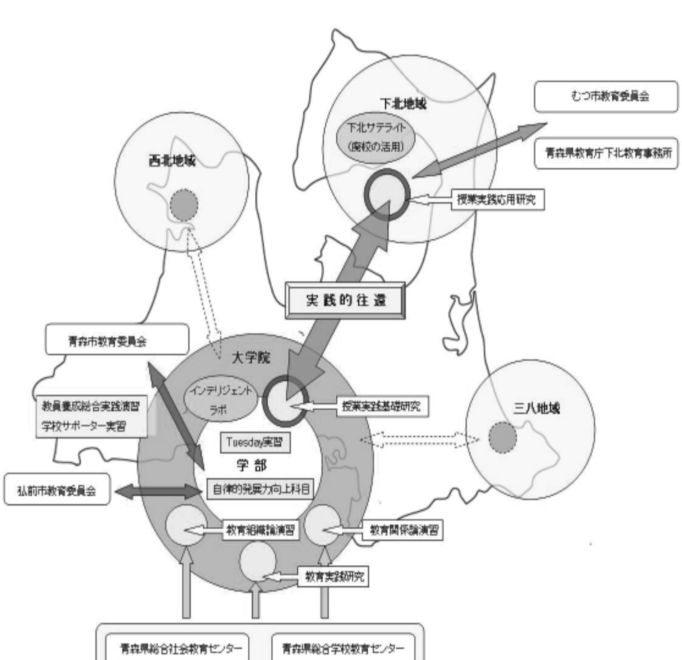
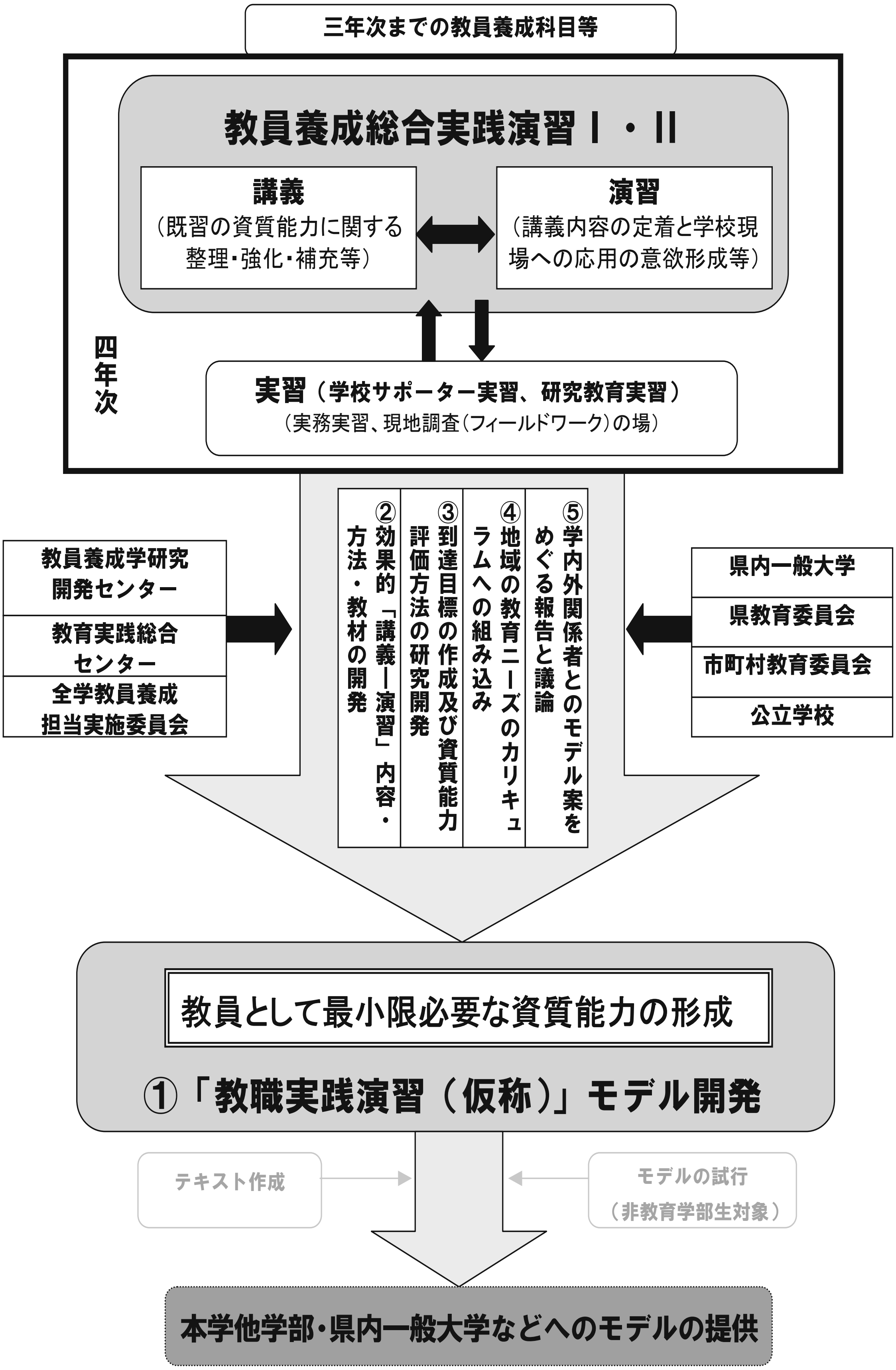


図1．循環型教育実践システムの構造図



三年次までの教員養成科目等
教員養成総合実践演習Ⅰ・Ⅱ
講義
（既習の資質能力に関する整理・強化・補充等）
演習
（講義内容の定着と学校現場への応用の意欲形成等）
四年次
実習（学校サポーター実習、研究教育実習）
（実務実習、現地調査（フィールドワーク）の場）
教員養成学研究開発センター
教育実践総合センター
全学教員養成担当実施委員会
⑤学内外関係者とのモデル案をめぐる報告と議論
④地域の教育ニーズのカリキュラムへの組み込み
③到達目標の作成及び資質能力評価方法の研究開発
②効果的「講義ー演習」内容・方法・教材の開発
県内一般大学
県教育委員会
市町村教育委員会
公立学校
教員として最小限必要な資質能力の形成
①「教職実践演習（仮称）」モデル開発
テキスト作成
モデルの試行
（非教育学部生対象）
本学他学部・県内一般大学などへのモデルの提供

” ‟ ﺗ ” , ῷ ʿ 4 ” ﻜﺠ 0 ῼ
Ғ Ꞓ ≥ ₤ ≈ ≤ √ ” ﺤﺌ 0 , Ғ

1//6 5 06

8 Ꞓ e · Ғ ₪ ∟ └ 8 Ꞓ e · Ғ ∏ Ғ ⌂

ﺋﻲ ﻣﺤﻲ ˉ O ﻌﻰ

ﻳﺰ

, ῷ ʿ 4 Oک

c ”

ر

ﺟﻰ ﺭ ﺗﻲ ʼ ﺗﻲ ﺟﻢ 0 ‼ — 6/

” ﻹ = ” ‖ Ή ﺌﻮ Ḥ ‖ ‼ 4 0 ʼ — ‥ 4 ˜

21///

ﮋ 14//

₤ ∩ └ ← ∮ ʼ ʼ

ﺌﻮ

'0(ﺌﻮ ˉ 086 ʼ 40 ʼ 36 ʼ 6 ʼ o 4 ʼ 36 ʼ 25

'1(ﺌﻮ 083 ʼ ﺑﻢ 120 ʼ 07 ʼ 53 ʼ 41 ʼ 6 ʼ

o 4 ʼ 41 ʼ 1 ʼ 35 ʼ 6

'2(4/3

'3(ﺌﻮ ﮋ ˉ 00 ʼ 0 ʼ 0 ʼ 0 ʼ o / ʼ 2 ʼ 4

'4(ﺌﻮ ﮋ 8 ʼ ﺑﻢ 3 ʼ 1 ʼ 2 ʼ 0 ʼ 0 ʼ o / ʼ

2 ʼ 6 ʼ /

ﺑﺤﺚ

4

ر = ‾ = ‾ ﺭ ﺗﻲ ‖ ʼ ₦ ≤ ∮ ʼ ” ʽO

0 — ‥ 4 ˜

” , 4 ﺟﻢ ˉ

'0(ˉ ﻌﻰ

'1(ˉ ʽO – ﺜﺰ — ‥ ʼ Ό , ‥ ʽΩ ʼ

0 4 ˜ „ Ό 4 ˜

j Ꞓ ≥ ₤ ≈ ≤ √ ˉ ﺏ 5 „ ʼ ﻳﺰ ” ῴ ‖ ʿP –— ʼ 8 ʿ ‖

„ ʼ ‥

'0(ˉ ” ﭡ

˥ ” ˉ ” ˉ = 4 ʽO ʼ 5 = ﮋ — 4 ʽO „ ‴

— ‥ ʼ ‥ ˜

ϖ ﭞﭝ ₌ — ’ Ῥ ₌ ¯ ˘ ج , „ ⁴ ˜ ” ˗
, — ₀ ج ⁴ ˜
ת ˘ ” , – ̏ — „ Ή Ꞓ ≥ ₤ ≈ ≤ √ ˘ Ḥ ₌ ⁴ ˜
'1(O
ד ” ⁞ Ꞓ ≥ ₤ ≈ ≤ √ ” ₌
ϖ Ή ب Ḥ ” ₌ ﮬ
ת Ή Ḥ ” ﻁ ‖ ‖
װ ⁞ ₐ └ ₿ ╒ └ ₮ № ↨ ∑ ≤ └ Ω ₉ ₈ , ῷ ‘ ⁴ ⁞ ˘ ₌ ” ﰟ
ײ • ʟ ث , — ₌ ” ﰟ ‖
” , ⁴ ₌
'2(
ד ر
ϖ ” Ӂ Ή , ⁴ Ḥ
ת ” ﻋﻰ
װ Ή Ḥ ” رتي
'3(O ﻋﻰ , – ̏ —
O ﻋﻰ „ O ﻋﻰ Ό ⁴ ˜

ϴ Ή Ḥ , – ̏ — ⁵ „ ’ يز ” ῴ ‖ Ῥ –— ’ ↑ ⁸ ‘ ‖ „ ’ ̏
₦ ≤ ₰ ” ῷ↑ • ₪ ⁄ , – ̏ —
₦ ≤ ₰ ₪ ⁄ ₀ ῴ — ̏ ⁴ ˜

Ȣ ” ,
” , „ ‖
جم , – ̏ —
ד ﭞﭝ ₌ — ﺌﻮ يز , ₦ ≤ ₰ ₀ ⁴ ˜
ϖ جم „ Ή ‖ ﺗ جم ” ﺑﻢ , ⁴ O ḤΉ ﯙﯙ ⁞
, ⁴ O ḤΉ ﻍ ⁞ ر , ⁴ O Ḥ , – ̏ — ₌
⁴ ˜
ת ر „ ₡ ≥ ₔ └ Ω ╒ ₮ ≡ └ ‴ ₌ ‼ ﮬ ₀ ῳ ˜
װ ↑ ’ ‘ ₀ رتي , ₦ ≤ ₰ ₀ — ¯ ↑ ῳ ˜
ײ ” , ⁴ , ↑ ⁴ ₀ ⁴ ˜

₀ ˜
‴↑ „ ₀ ⁴ ˜

ㅇ<

		جم	ة
	ر	₡ ≥ ₔ └Ω ╒ ₮ ≡ └ ‖ بم ’ ,	
	ر تي	كج ⁞ O : ”	
	ر تي	´ ⁞ ع ٧ بم , ⁴ O ₪ · ≈ ⅔Rs ╒ ₮ ≡ └	
	ر تي	ئۆ ⁞ , ⁴ O	
	ر تي	ئۆ ⁞ , ⁴ O	
	´	” غ , – ̃ —	⌐ – ╒ ⅍ ثز ه
	ر تي	” بم , ⁴ O ך	
	ر تي	” بم , ⁴ O ש	
	ر تي	” بم , ⁴ O ת	
	ر تي	” بم , ⁴ O װ	
	ر تي	” بم , ⁴ O ײ	
	, ⁴		⌐ – ╒ ⅍ ثز ه

	ر		
	ر	‴ ₌ ‼	
	ر	⌐ − ₣ ⅍ ”	” ⌐ − ₣ ⅍ 0 ژ 4
ه	ر	⌐ − ₣ ⅍ ₌ رتي ر ” ه 0 , ه 0 4 ˜	

῀ e 9 ℔ ₢ № ₮ ≡ └ ĭ

Tuesday